

赦された者は赦す

2023年10月15日

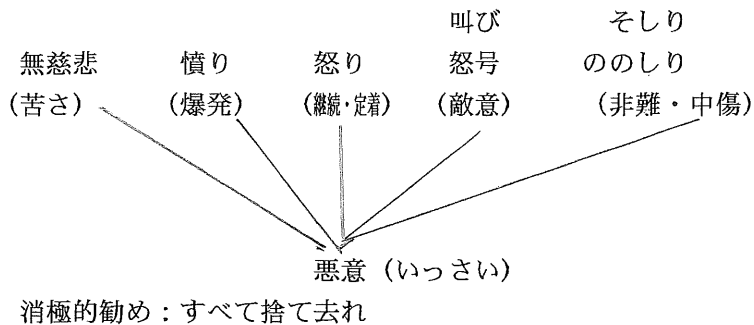
エペソ人への手紙 4章31～32節

マタイの福音書 18章21～35節

序：クリスチャン生活での日常的な罪・悪（25節～）

31～32節は総括

I. 内の悪が外に表出



II. 積極的勧め（聖徒同士：互いに）

(1)互いに親切にする ⇔ 無慈悲
愛情・思い遣り 冷淡・薄情
利他 利己

(2)優しい心で ⇔ 悪意（害心）
健全・善良

(3)赦し合う

根拠：神がキリストにおいて許して下さった（一般の倫理道德とは違う）

私たちはみな罪人 みな不完全、みな弱さを持つ

私たちは無謬ではない（誤り／失敗がある）

模範：神のくださった赦し

Ⅲ. 神の赦し マタイ 18・21～35 王と一万タラント赦された家来

(1)ゆるしの回数は無限 7を70倍

(2)返せない負債（罪の代価）を負った者と王の憐れみ

人間 神

(3)返済免除された額は一国の王の身代金ほどのとてつもない額

罰を免れた

(4)その家来が百デナリ貸した仲間から返済を強要した

憐れみをいただいたのに、憐れまなかった 投獄

(5)王はそれを聞いて激怒、彼を牢に入れた

IV. 結び

(1) いっさいの罪の毒花は一つの根から出て実を結ぶ

5つの罪の現れ 悪意

(2)日常的な悪の行為（ことば、行い）は心の内から出てくる

舌の下に思想がある

ことばや行いをよくするには、心の領域が取り扱われるべき

(3)主にある者どうしが罪を犯した場合、「赦す」ことが最上の解決

全面的な赦し 赦したら忘れる 無限に赦す

(4)しかし、赦すことは難しい、気持ちの進まないこと、不可能に近いこと

原因：自己義認、人と自分を比べての判断（神の前にどうであるかが問題）

(5)なのに、なぜ「赦しなさい」と言われるのか？

赦された経験がある 赦された喜びと感謝を味わった身である

莫大な代価（イエス・キリストのきよいいのち）を払って贖われた自分。

(6)神に対する罪に比べれば、人に対する罪は小さい

神に赦されたお互いだから、赦し合うよう命じられている

救われた者だから、赦すことができるよう変えられている

(7)隣人にお金を貸すようなことがあれば、返してもらえないことも念頭に

あげたつもりでいたほうがよい？

最初から貸さないほうが賢明